

校長室だより 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

負け惜しみ・・・ ではありません！

きょうは こころも からだも はれ！
きらきら こうないえんそく
わくわくした きもちで
うれしい かおで
たのしく なかよく すごそう！

1年生の教室の黒板に、こんな素敵な言葉が書かれていました。

10月1日。縦割り遠足の日でした。しかしながら、前日から降り続く雨で、校内遠足となりました。

でも、見てください。1年生の教室に書かれた先生の言葉。そして、聞こえてくる子どもたちの歓声と笑い声。

教室の中ではお楽しみ会に演芸大会。
ふれあい広場ではおにごっこ。
そして体育館ではクラスマッチ。
お昼はみんなで丸くなってお弁当。

雨が降ったからこそ味わえるこの喜び。
決して負け惜しみではありません。

事実は1つだけ

私たちの人生において、予期せぬ出来事や、望んでいなかった出来事が突然訪れることがしばしばあります。

その事実は変えることができませんが、人によってそこから生まれる結果が異なることがしばしばあります。

雨が降り、校内遠足となってしまいましたが、そのことを悔やみ続ける人には喜びは訪れません。

この雨を好機と捉え、楽しみを創り出そうとする人たちは、意外な喜びを発見することができます。

6年生の先生の声が聞こえてきました。「雨が降って校内遠足になってしまったけど、サッと気持ちを切り替えることのできる君たちは偉い！」

そうなんです。幸せは、こんな子どもたちの上にやってくるのです。



リーダーズ

昨年3月に、2夜連続大型ドラマ「リーダーズ」が放映されましたが、ご覧になられましたか。

トヨタ自動車創業者である豊田喜一郎をモデルにしたドラマです。戦前から戦後にかけて、様々な困難にぶち当たりながらも、国産自動車の生産に夢をかけた喜一郎の人生を描いています。

このドラマのタイトルは、「リーダー」ではなく、「リーダーズ」となっています。実は、この複数形の「ズ」に意味があるとされています。

一人の偉大なリーダーによって偉業がなされたのではなく、それぞれの部署に有能な、あるいは心あるリーダーがいたからこそ偉業がなされたというのです。

我が春日小学校もまさに「リーダーズ」。

学年主任を中心に
一人の子どものことに
一つの授業のために
みんなで知恵を出し合い
日が暮れても笑顔を忘れずに
最高のチームが
そこにも ここにも あそこにも
「学級王国」は遠い昔



